



工場の中はどうなっているの？

今週は、社会科の学習で「クリアウォーター津南」の見学をしました。見学に行く前に、授業で「工場ではたらく人と仕事」の学習を行いました。子どもたちは教科書や動画教材を見ながら、「これってどこの工場でも同じなのかな?」「この機械、見てみたい!」と、実際に工場に見学に出かけることをとても楽しみにしている様子がありました。

いざ見学に行くと、普段の生活ではなかなか見る」ことができない大きな機械や工場の裏側を見せていただきました。ペットボトルが流れていく様子を目の前にした時には、「すごい速さで流れている!」「どうやって同じ形になるんだろう?」と目をきらきらさせながらつぶやく姿がありました。実際の作業現場を見たことで教科書の内容がより深く理解でき、「あ、これ授業で習ったところだ!」と気付いている子もいました。

また、工場で働く方からのお話を聞く中で、「安全に作るために工夫していること」や「環境に配慮していること」など、教科書を使った教室での学習では気付けなかった新しい視点も得ることができました。子どもたちは、ただ「作る」だけではなく、その裏にはたくさんの人の努力や思いがあることを実感していました。今回の経験をもとに、社会科の学習と自分の生活とのつながりを感じることができました。



お願いします。ご協力をお願いします。

子どもたちは社会科の学習で働く人々と仕事について学んでいます。そこで、子どもたちの「働くこと」への興味をさらに深めるため、保護者の皆さまからお仕事についてお話しいただく機会を設けたいと考えております。つきましては、下記の内容について、可能な範囲で子どもたちにお伝えいただけませんか。今週末の宿題でインタビューすることになっています。

【お伝えいただきたい内容】

- ・お仕事の内容
- ・そのお仕事でやりがいを感じる時、楽しい時
- ・そのお仕事で工夫していること
- ・子どもたちが考えた質問

